

授業概要

- ・乳幼児が、歌や楽器によって自己表現したものを受け止め、音楽する喜びを味わわせることのできる保育者を養成するという観点から、幼児期における音楽教育の重要性を理論的に学び、実践的指導力を養うための音楽活動について指導する。
- ・模擬保育を実施し、自己の課題を明確にする。
- ・ワークショップ型の授業を行い、自らの表現能力とコミュニケーション能力を高める。
- ・学びを深めるために、毎回、授業終了時に「振り返りシート」を配布し、次回の授業で提出する。

授業計画

|        |                                           |
|--------|-------------------------------------------|
| 第 1 回  | ・ 授業の進め方説明<br>・ 表現とは                      |
| 第 2 回  | リズム遊び(言葉とリズム)→楽譜に表す                       |
| 第 3 回  | リズムアンサンブル                                 |
| 第 4 回  | 楽器の活動①トーンチャイムによるアンサンブル                    |
| 第 5 回  | 楽器の活動②ミュージックベルによるアンサンブル                   |
| 第 6 回  | 楽器の活動③合奏曲の指導法                             |
| 第 7 回  | 「ニコニコ動物合唱隊」(パペット)を使ったグループ活動①練習            |
| 第 8 回  | 「ニコニコ動物合唱隊」(パペット)を使ったグループ活動②発表            |
| 第 9 回  | 遊び歌①指遊び・手遊び・身体遊び                          |
| 第 10 回 | 遊び歌②絵描き歌・歌を伴うゲーム                          |
| 第 11 回 | 模擬保育のための指導案作成                             |
| 第 12 回 | パネルシアター・ペープサート・手袋シアター・歌紙芝居を用いた歌唱指導①～⑤グループ |
| 第 13 回 | パネルシアター・ペープサート・手袋シアター・歌紙芝居を用いた歌唱指導⑥～⑩グループ |
| 第 14 回 | 音楽教育の様々なアプローチ・歌唱指導のための資料                  |
| 第 15 回 | 授業の振り返り                                   |
| 第 16 回 | レポート作成                                    |

到達目標

- ・リズムアンサンブルのための作品が作れる。
- ・様々な楽器の名称や奏法を理解する。
- ・保育活動で使う手遊びや歌遊びを指導する技術を習得する。
- ・指導案作成のポイントを理解する。

履修上の注意

- ・積極的に授業に臨み、必ず予習復習をすること。
- ・発表は全て VTR で記録する。
- ・提出物は期限を守ること。
- ・グループ活動が多いので、欠席をしないこと。
- ・遅刻は、やむを得ない場合 15 分以内で認めることがある。それ以降は欠席とする。遅刻 3 回で欠席 1 回とする。

予習復習

授業内で得た知識および指導技術は必ず復習をして、教育実習・保育実習の際に活用できるようにしておく。

評価方法

- ・発表、提出物、活動への関わり方を総合的に評価

テキスト

『アイディアいっぱい 保育者のための音楽表現』 金指初恵編著 大学図書出版